

一般社団法人茨城県経営者協会



CONTENTS

- 01 平成26年度定時総会開く
鬼澤邦夫氏を会長に選任（再選）
会員・地域から頼りにされる団体を目指して
- 03 青年経営研究会が総会を開催
新役員を選出
- 05 委員会報告
産業政策／環境／経営教育
- 06 支部だより
鹿行
- 08 協会人事
出向者退任のお知らせ
- 09 『会員増強運動2014』の状況 前年度比30社増、目標まで23社
- 11 新入会員紹介
- 12 大学への寄付講座
「なりたい自分になろう」
日立精錬株式会社 代表取締役社長 煙山弘氏
- 13 「経済って何？景気って何？」
水戸証券株式会社 執行役員水戸支店長 五十嵐伸氏
- 14 「環境の変化に対応できる人材に」
株式会社筑波銀行 代表取締役副頭取 植木誠氏
- 15 数に込められた思いと意味④<葛田一雄>
「日本人の感情」
- 17 県内NPO情報Vol.165<横田能洋>
「いばらき未来基金が初のテーマ助成」
- 18 セミナー・事業等のご案内

鬼澤邦夫氏を会長に選任(再選) 会員・地域から頼りにされる団体を 目指して

平成26年度定時総会開く

本会は去る6月5日(木)、水戸市宮町のホテルレイクビュー水戸にて定時総会を開催した。

会員260名が出席し、平成26年度の事業活動報告、収支決算などのほか、任期満了に伴う役員を選任などが承認された。



開会挨拶に立つ鬼澤会長

開会宣言に続き、鬼澤邦夫会長が挨拶に立ち、「中央では安倍政権がスタートし1年半、アベノミクスによる円安と株高により、景気は着実に明るい方向に向かっている。本県の状況は、『全体としては、緩やかに回復しつつある』(日銀・金融経済概況)ようだが、実態としては、まだ模様であり、地域全体が景気回復を実感できるようになることが重要である。経協活動については、交流を通じた「経営者の相互啓発、資質向上」及び「経営支援活動」と「政策提言活動」の3点に力を入れて活動を展開してきた。今後は、会員の皆様が抱える課題や悩み、そして経協活動への要望・期待をしっかりと受け止め、それらに可能な限り応えられる組織と機能が一段と求められている。このような課題解決の仕組みが十分に回り出せば、会員の皆様から経協に入会して頂けると実感して頂け、また外部機関からの信頼もより深まるものと思っている。微力ながら全力を尽くしたい。引き続き、力強いご支援ご協力をお願いしたい」と述べた。

次に、来賓代表として楠田幹人茨城県副知事が挨拶した。この後、鬼澤会長が議長となり、第1号議案「平成25年度事業活動報告の承認を求める件」、第2号議案「平成25年度収支決算報告の承認を求める件」、報告事項1「監査報告」、報告2「第7次中期運営要綱(平成26年度～28年度の中期計画)について」、報告事項3「平成26年度事業活動計画の報告」、報告事項4「平成26年度収支予算の報告」、第3号議案「常勤役員の報酬総額」について審議し、議案については、それぞれ原案どおり承認可決された。

次に、第4号議案「役員を選任の件」として、17名の理事候補者、3名の監事候補者が上程され、原案通り選任された。

総会議事終了後、第3回理事会を開催して、正副会長、専務理事を選任するとともに、顧問、参与の委嘱、事務局長の任命についても原案通り承認可決された。

■新正副会長、専務理事、理事

- | | | |
|-------|-------|---------------------|
| 会 長 | 鬼澤 邦夫 | ㈱常陽銀行 代表取締役会長 |
| 副 会 長 | 小濱 裕正 | ㈱カスミ 代表取締役会長 |
| 副 会 長 | 佐藤 修二 | ㈱日立ライフ 代表取締役社長 |
| 副 会 長 | 高橋日出男 | ㈱協立製作所 代表取締役社長 |
| 副 会 長 | 竹中 弘明 | 新日鐵住金(株) 鹿島製鐵所副所長 |
| 専務理事 | 沢畑 慎志 | 一般社団法人茨城県経営者協会 |
| 理 事 | 中田 弘章 | JX日鉱日石金属(株) |
| | | 取締役常務執行役員日立事業所長 |
| 理 事 | 館岡 司 | ㈱日立製作所電力システム社 |
| | | 日立事業所 副事業所長 |
| 理 事 | 柳生 修 | コロナ電気(株) 代表取締役社長 |
| 理 事 | 幡谷 史朗 | 茨城トヨタ自動車(株) 代表取締役社長 |
| 理 事 | 岡野 勇次 | ㈱ケーズホールディングス |
| | | 専務取締役管理本部長 |
| 理 事 | 清水健一郎 | 東日本電信電話(株) 理事茨城支店長 |

理事 西村 寛 (株)水戸京成百貨店 代表取締役社長
 理事 藤川 雅海 (株)筑波銀行 代表取締役頭取
 理事 有馬 幸男 日立建機(株) 取締役兼執行役専務
 理事 関 正樹 関彰商事(株) 代表取締役社長
 理事 坂井 雅紀 キヤノンエコロジーインダストリー(株)
 代表取締役社長

監事 小田部 卓 (株)茨城新聞社 代表取締役社長
 監事 埜 由博 水戸信用金庫 理事長
 監事 横山 哲郎 横山会計事務所 所長
 事務局長 加藤 祐一 一般社団法人茨城県経営者協会

その後、再選された鬼澤会長より「役員一同、会の発展と地域の活性化に精一杯努力して参りたい。会員の皆様のご支援ご協力をお願いしたい」と述べた。

続いて、今回退任された木村和弘副会長(日鉄住金鉱化(株)代表取締役社長)、清水賢一専務理事(顧問に就任)、新任の竹中弘明副会長、沢畑慎志専務理事より退任および就任の挨拶がなされた。

この後、記念講演に移り、筑波大学大学院教授の松崎一葉氏の「今、経営者に求められる心」と題す



松崎一葉先生の記念講演

る講演がなされた。

最後に、知事、国会議員、県議会議長やマスコミの代表にもご参加いただいた交流パーティを行い散会した。

平成26年度事業活動計画

【活動方針】

平成26年度は、第7次中期運営要綱(平成26年度～28年度の中期計画)に掲げた『会員・地域から頼りにされる茨城経協へと進化する』ことをめざし、①情報収集・情報発信の強化、②会員交流機会の拡充、③研修・セミナー事業のさらなる内容充実、④地域社会への貢献活動の強化、⑤政策提言力の向上の5つの重点に取り組んでまいります。

会員の皆様の課題解決、経営力向上を支援し、企業活力の高揚に取組み、地域経済・地域社会の活性化に貢献してまいります。

また、業種や地域によっては、未だ東日本大震災等からの復興が道半ばであることから、引き続き、関係機関との連携協力を努め、早期復興に役割を果たしてまいります。

【重点事業】

1. 会員の経営力向上のための情報収集・情報発信の強化

- (1)会員の経営に役立つ情報収集・発信
- (2)人事・労務・人材育成、人材確保分野の情報収集・発信
- (3)人事労務および環境経営等の経営労務相談活動の充実

2. 会員相互のネットワーク作りのための交流機会の拡充

- (1)広域的(全県および他県経協会員等)な経営者間交流の機会の拡充
- (2)会員企業の経営力・技術力向上とビジネス交流の機会の提供・支援
- (3)多様な交流機会の拡充(青年経営研究会、女性経営幹部等)

3. 会員のニーズを踏まえた研修・セミナー事業の充実

- (1)経営革新を推進する業種別、階層別研修・セミナーの充実
- (2)先進的経営、環境経営、人材育成の事例紹介・勉強会の開催
- (3)会員企業の研修等のサポート体制の充実

4. 「豊かな茨城づくり」のための社会貢献活動の強化

- (1)「安全安心なまちづくり運動」の継続
- (2)次世代を担う若者の育成のための「県内大学への寄付講座」の継続
- (3)新たな地域貢献活動の新設を検討

5. 地域社会発展のための政策提言力の向上

- (1)会員ニーズ把握、政策提言・要望活動とその実現
- (2)経団連、茨城産業会議を通じた政策提言・要望活動
- (3)地域社会への情報発信および連携強化(行政や関係機関との懇談等)

青年経営研究会が総会を開催 新役員を選出

青年経営研究会(会長 関正樹氏 関彰商事(株)代表取締役)は、6月11日(水)、ホテルテラスザガーデン水戸にて平成26年度総会を開催した。

開会にあたり、関会長から、「新しい会員の出席もあり、沢山の方にご出席いただき、総会を開催できる事に感謝したい。今回の総会で新役員体制になるが、会の雰囲気や継続して活発な活動をお願いしたい」、澤畑専務理事から、「青研総会が盛会裡に開催される事、また、関会長のリーダーシップの元、会員が年々増えている事に感謝したい。経営者協会の第7次中期運営でも青年経営研究会の会員の増強は重点事項であるので、引き続き活発な活動をお願いしたい」と挨拶。続いて、25年度下期以降研究会に入会した新メンバーの紹介が行われた。

この後、研究会規程第11条の定めにより、関会長が議長となり議事が進行された。

まず、第1号議案「平成25年度活動報告の承認を求める件」及び第2号議案「平成25年度収支決算報告の承認を求める件」が上程され、議案説明の後、満場一致で承認された。

次に、第3号議案「平成26年度活動方針・計画案審議の件」及び第4号議案「平成26年度収支予算案審議の件」が上程され、議案説明の後、満場一致で承認可決された。

続いて、第5号議案「役員互選の件」が上程され、磯崎新会長の就任を含めた新役員が満場一致で承認可決され、関会長の退任挨拶、磯崎新会長の就任挨拶行われた。

《新役員》

会 長	磯崎 寛也	(株)アイ・ティ・エイチ 代表取締役
副 会 長	峯 亮	(有)峯商店 代表取締役
副 会 長	塙 徹	(株)ウエルシード 代表取締役
副 会 長	塚田 祐一	(有)アラニリミテッドカンパニー 代表取締役
副 会 長	塚本 一也	大曾根タクシー(株) 取締役社長

副 会 長	神尾圭太郎	(株)紙善 代表取締役
副 会 長	杉崎 和彦	杉崎計器(株) 代表取締役
直前会長	関 正樹	関彰商事(株) 代表取締役
アドバイザー	内田 聡	茨城大学人文学部 教授
幹 事 長	小河原利之	(株)eco city 代表取締役
[交流拡大委員会]		
委 員 長	大澤 健司	(株)サンヨーホーム 専務取締役
副委員長	野間 貴雄	(株)野間商店 代表取締役
副委員長	須藤 康之	須藤製糸(株) 専務取締役
副委員長	増田 貴之	(有)ヘルスケアー下妻 専務取締役
副委員長	木瀬 裕	(株)下妻スポーツ 代表取締役
副委員長	広木 克俊	(財)安寿苑 営業課長
幹 事	鈴木 達二	鈴縫工業(株) つくば支店長
[外交委員会]		
委 員 長	栗山 武志	栗山電気(株) 代表取締役
副委員長	長野 公秀	東日本電信電話(株)茨城支店 企画部長
副委員長	前島 康	(有)カメプ呉服店 専務取締役
副委員長	吉澤 敦	(有)アジアシステムサービス 代表取締役
副委員長	手塚 敏彦	常総ビル整美(株) 専務取締役
副委員長	塚田 秀紀	(有)茨城県西自動車学校 代表取締役
幹 事	大竹 昌士	(株)フジクリーン茨城 専務取締役
[研修委員会]		
委 員 長	藤澤 昭彦	(株)つくばユーワールド 代表取締役
副委員長	中山 眞矢	(株)眞建築設計室 代表取締役
副委員長	林 太一	亀印製菓(株) 代表取締役
副委員長	中尾 隆友	アセットベストパートナーズ(株) 代表取締役
副委員長	阿久津博史	(株)滝川館 代表取締役
副委員長	二川 泰久	(株)日東 代表取締役
幹 事	根岸 貴史	(株)大塚製作所 取締役

議事終了後、経営者協会副会長で、インドでホテルビジネスを展開する株式会社日立ライフ取締役社長の佐藤修二氏から、『インドのビジネス展開で学んだものと私の大切にしている価値観』を題し、インドでのビジネス環境や日本のおもてなしの実現などを、現地のエピソードを交えながら紹介いただき、交流を深め散会した。



佐藤修二副会長の講演

青年経営研究会会員募集

58名の若手経営者で活動しています

一般社団法人茨城県経営者協会 青年経営研究会は、昭和57年2月に設立、今年度で33年目を迎えます。

現在、交流拡大、外交、研修の3委員会下記のような特色ある例会を定期的に開催しております。

58名の若手経営者が活動しておりますので、共に学び、自己研鑽を図りたい50才以下の経営者の方の新規ご入会を募集いたします。



2013年10月ANAクラウンプラザホテル神戸にて

《お問い合わせ》

一般社団法人茨城県経営者協会 事務局 担当：澤畑英史、加藤、薄井 (TEL：029-221-5301)

《最近の活動》



2014年2月イオンモールつくばにて

《最近の活動》

この1年間では、成長産業を探るシリーズで、“医療”、“電子商取引”をテーマに学び、青森視察会では、十和田市の街おこしや十和田市現代美術館、市の基礎を築いた新渡戸傳氏や新渡戸稲造氏の偉業を伝える新渡戸記念館の見学。ベトナムの最新事情を探る海外視察会などを開催。

また、会員の交流を深める、花見例会、新年交流会、他県若手経営者との交流を図る全国大会への参加など、多様な例会を開催しております。



2013年9月十和田市現代美術館にて



2014年4月JETRO ホーチミン事務所にて

産業政策委員会

第1回会員ニーズ調査部会を開催

産業政策委員会(委員長 深澤正勝氏 日立セメント(株)取締役専務執行役員)の会員ニーズ調査部会(部会長 家次晃氏 (株)日立製作所電力システム社グローバルビジネスマネジメント本部総務部長)は、5月29日(木)、経営者協会会議室において、第1回会員ニーズ調査部会を開催した。

開催にあたり、家次部会長より、「今年度はより県政への影響力を高めたく、要望書提出時期を早める。その為に昨年度よりスケジュールを前倒しで対応してきた経緯があり、本日は、今年度第1回目の部会開催であ

るが、昨年度は第2回部会で協議した平成26年度県政要望素案についての協議と、皆様へのご負担も大きいですが、経験豊富な皆様より忌憚のない意見をお願いしたい。」と挨拶があった。

議事では、事務局から平成25年度の活動、平成26年2月14日(金)に開催した県との意見交換会、また、平成26年度会員ニーズアンケート調査の集計結果についてアンケート回答率が35.2%と過去最高を記録できたことの報告がなされ、平成26年度県政要望素案についての協議へと移った。

出席者からは、具体的要望内

容を検証しながら、「茨城空港の利便性向上では、駐車場の整備等も含めた要望としてはどうか」、「具体的エビデンスを示した要望であれば、説得力も向上する」などの様々な指摘・意見が述べられた。

これらの指摘・意見を踏まえ素案を修正し、部会長の承認を得て、7月に予定されている産業政策委員会に諮ることが承認された。



平成26年度 第1回環境委員会を開催

恒例の「環境行政説明会」も開催

環境委員会(委員長 坂井雅紀氏 キヤノンエコロジーインダストリー(株)代表取締役社長)は、6月24日(火)、茨城県産業会館にて本年第1回目の委員会を開催。昨年下半年に実施した事業の報告と、26年度の活動計画について協議がなされた。

ISOの研修会や環境法令に関するセミナー、また環境に先進的に取り組んでいる企業・施設の見学会を県内外問わず開催していくことが了承された。

また、昨年を引き続き委員会内に「情報交換会」を設け「エネルギー・電力の削減」をテーマに各社の取り組みを伺うとともに、有益な情報については会員

各社へ広報していくこと等が確認された。

委員会終了後には、恒例の茨城県生活環境部より担当講師を招き、重点施策や留意事項について解説をいただく「環境行政説明会」が併設され、55社67名が参加した。

※説明会テーマは下記参照。配布資料等ご希望の方は事務局(Tel:029-221-5301)までご連絡下さい。

①潤沼のラムサール条約の登録について

【講師：県生活環境部環境政策課 課長補佐 会田済氏】

②本県の地球温暖化対策について

【講師：県生活環境部環境政策課 室長補佐 松本俊一氏】

③水質に関する県条例について

【講師：県生活環境部環境対策課 課長補佐 広瀬浩二氏】

④PM2.5に関する県内の状況について

【講師：県生活環境部環境対策課 課長補佐 佐藤拓児氏】

⑤茨城県残土条例の改正について

【講師：県生活環境部廃棄物対策課 室長補佐 鈴木賢嗣氏】

⑥PCB廃棄物の処理等について

【講師：県生活環境部廃棄物対策課 主事 長谷川裕之氏】

“おもてなしマインド”と行動を2回シリーズで学ぶ

サービス業セミナーを開催

経営教育委員会(委員長 植木誠氏 (株)筑波銀行 代表取締役副頭取)は6月3日(火)、12日(木)、フェリヴェールサンシャインにおいてサービス業セミナーを開催した。

今回のセミナーは、サービス業関係の会員が3割に達し、サービス業向けのセミナーの開催を望む会員の声に応える形で企画された。

講師は、水戸市在住の産業カウンセラーであり、茨城空港やララガーデン長町(仙台市)でおもてなしマインドを重視した接客研修を担当された田寺尚子氏に担当いただき、お客様との信頼関係を築くためのおもてなしマインドや言葉使いと立ち振る

舞い、聴き上手になるための傾聴、クレームをチャンスに変えるポイントを講義とロールプレイングを通じて学んだ。

アンケートでは、「目配り、気配り、心配り。自分なりに行ってきたつもりでしたが、より深く理解できたように思います」

「実際に社に戻り、お客様に対して、配慮できる自分へのゆとりを感じました」「後輩に対しての教える姿勢を変えています」「田寺さんの声、話すスピードがとても心地よく集中して受講できました」など好評だった。



支部だより

JUL. 2014

Branch office report

鹿行地区支部

会員懇談会を開催

鹿行地区支部(支部長 竹中弘明氏 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所副所長)は、6月17日(火)、鹿島セントラルホテルにおいて「会員懇談会」を開催。同事業は、近年入会いただいた支部会員をお招きし、業界動向など企業間の情報交換の場として、また経協活動に対する要望や期待についてご意見を伺うことを目的に開催された。参加者数は役員幹事を含め33名。

冒頭、竹中支部長より「本部活動も含め、定期的に支部事業をご案内しておりますが、支部活動においては役員幹事が企画の立案から運営までをお手伝いしております。ここ数年で会員

数も増え、より皆様のお役に立てる活動、また信頼をいただける活動を推進していくべく、勝手ではございますが皆様の生の声を伺える機会をいただきたく思い、今回このような場を設けさせていただきました。懇談後には、異業種交流の場として懇親会も併設しておりますので、この機会を有意義にご活用いただき、積極的な交流を図っていただければ幸いです」と挨拶。その後、友澤邦夫幹事長((株)トクヤマ鹿島工場総務課長)の進行により、出席企業各社の業界概況や支部に対するご意見をお寄せいただいた。具体的には“若手経営者や次世代を

担う社員向けに自己研鑽できる機会を”“人手不足への対応を”といった意見が寄せられ、今後の支部事業へ反映していくことが確認された。

懇談後には懇親会に移り、替地享二副支部長(鹿島都市開発(株)代表取締役社長)の乾杯発声のもと、企業間の交流が図られた。



県内5エリアで高校進路指導の先生方との産学懇談会・名刺交換会が開かれる



本年も6月20日の鹿行地区を皮切りに、県内5つのエリ

ア(県北:6/24、常陸那珂・水戸:6/26、県南:6/24、県西:6/26、鹿行:6/20)で「産学懇談会・名刺交換会」が開催された。同事業は、来春卒業の高校生の採用を計画している企業の人事担当者と、県内高校の進路指導の先生方が一堂に会し、採用計画や

就職希望生徒の希望職種等について情報交換されるもので、茨城県産業教育振興会との連携により例年開催している。昨年と比べ、参加企業数が倍以上に増えたエリアもあり、採用意欲の高い企業が増えてきている印象であった。

県教育長、県商工労働部長より経済4団体に高校生の求人拡大要請

去る6月24日、当協会を含め経済4団体は、茨城県教育委員会の小野寺俊教育長、茨城県



商工労働部の斎田陽介部長から「高卒者の求人要請書」を受取り、来春卒業予定の高校生の求人確保に向けた協力を要請された。

小野寺教育長から「今春の就職内定率は97.3%まで回復。求人倍率も1.43倍と多くの求人を出していただいているが、全国平均より低く、求人枠の拡大、正社員としての雇用、を県内企業の方々にお願いしたい」との

要請がなされた。

要請を受けた当協会沢畑専務理事は「就職後の離職率も問題。従来の7・5・3現象から6・4・3に変化をしているが、3年以内に4割が離職することをよく考えるべき」

当協会としては、高卒者の就職の場の確保・拡大について、各種会合において会員企業に呼びかけて行く予定。

「ともに、いきる」を実現する大学
茨城キリスト教大学

文学部	生活科学部	看護学部
● 文化交流学科	● 心理福祉学科	● 看護学科
● 現代英語学科	● 食物健康科学科	● 経営学部
● 児童教育学科児童教育専攻		● 経営学科
● 児童教育学科幼児保育専攻		

携帯から簡単アクセス▲

〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 JR常磐線大塚(おおみか)駅隣接
<http://www.icc.ac.jp/> 携帯用 <http://www.icc.ac.jp/m/>



政策委員、支部役員の異動をご報告します。

土浦・石岡・つくば地区支部長

有馬 幸男氏



日立建機(株)
執行役専務兼取締役

古河・坂東地区支部長

阪 好弘氏



京三電機(株)
代表取締役社長

出向者退任のお知らせ

6月末日をもちまして、(株)常陽銀行様から協会事務局にご派遣頂いておりました篠原崇邦氏が退任致しました。篠原氏の協会運営に対しますご尽力に厚く御礼申し上げます。また、同氏をご派遣頂きました(株)常陽銀行様に重ねて厚く御礼申し上げます。



篠原崇邦氏

平成24年7月、経営者協会事務局に着任以来、2年間の在任中は、ひとかたならぬお世話になり、誠にありがとうございました。会員の皆様をはじめ多くの方々との出会い、数多くの貴重な経験をさせて頂きました。あっという間ではございましたが、生涯忘れ得ぬ宝物であると同時に、私の今後の人生においてかけがえのない財産になりました。こうして無事に任期を終えることが出来ましたことは、皆様の温かいご支援ご指導のおかげと心より御礼申し上げます。常陽銀行に戻りましても、より一層のご指導ご厚誼を賜りますよう、伏してお願いを申し上げます。今までお世話になり、本当にありがとうございました。



『会員増強運動2014』の状況

前年度比30社増、目標まで23社

1. 6月の状況

5月は、支部役員・幹事の皆様、役員・委員会委員の皆様からのご紹介もあり、入会8社、退会3社で前月比プラス5社となり、前年度比30社増、年度目標の870社まで23社となりました。

会員の皆様のご協力に感謝いたします。

2. 『会員増強運動2014』について。

『2014会員増強運動』の推進状況

1. 会員の状況（6月30日現在）

支部 項目	県北	日立	常陸・ 那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ケ崎	県西	古河・ 坂東	鹿行	合計	
25年度末 会員数	38	85	73	243	118	54	62	51	93	817	
入会数		3	2	10	6	8	4	2	5	40	
退会数	1	2	1	2		1	3			10	
会員数	37	86	74	251	124	61	63	53	98	847	
										前年度比	+ 30

平成26年度目標

870

目標比

▲ 23

平成26年度は、協会の事業運営の指針であります「第7次中期運営要綱」の初年度にあたります。

今後ますます、会員の皆様の相互啓発やビジネス交流の活性化を加速させるために、また「数は力なり」でこれまで以上に行政等に対する政策提言力の強化を図るためにも、平成26年度も引続き『会員増強運動2014』に取り組んでおります。

今年度は、本部役員等に限らず、幅広くすべての会員の皆様から、お知り合いなどをご紹介いただき、運動を盛り上げてまいります。

つきましては、会員の皆様におかれましては、当協会にご入会いただけそうなお知り合いなどがいらっしゃるいましたら、1社でも結構ですので、是非お誘いいただき、右ページの「紹介票」にて事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

〔 ※FAXのほか必要事項をご記載いただければ電子メールでも結構です。
メールアドレス：info@ikk.or.jp 〕

なお、「会員増強運動2014」の進捗状況等につきましては、この「茨城経協」を通じて、毎月会員の皆様へお知らせしてまいります。ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

【会員増強運動2014】 入会见込先 紹介票

茨城県経営者協会 行き

FAX : 029-224-1109

御社名	
役職氏名	
TEL	

“会員増強運動 2014” の入会见込先として、下記のとおりご紹介致します。

【入会见込先の情報】

No.	会社名	電話番号	先方担当者（役職氏名）	連絡方法（○印）
1			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
2			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
3			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
4			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
5			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由

【備考】

--

※恐縮ですが、コピー、ご記入の上、FAXくださいますようお願いいたします。

新入会員紹介

株式会社サンテ

■代表取締役社長 高橋 弘明



Data 所在地／水戸市元吉田町 1057-3
ルドルフ 1F
T E L 029-306-8920
F A X 029-306-8921
業 種／保険調剤薬局
従業員／125名

Appeal point

現在の医療は、高度化かつ専門性が増しております。さまざまな変化に対応し、地域の皆様の健康を守るべく、医療機関や患者様との信頼関係を築きながらサポートすることが私たちの使命と考えております。「皆様が幸せになるお手伝いをさせていただく」気持ちを忘れずに、地域に貢献できる企業をめざし、精進してまいります。

常伸電通システム株式会社

■代表取締役 海東 清二



Data 所在地／土浦市板谷 6 丁目
648 番地 16
T E L 029-830-0311
F A X 029-830-0313
H P www.joshin-sys.com
業 種／電気、電気通信、
消防施設
従業員／55名

Appeal point

弊社は昭和 62 年に設立し、社会インフラ工事を主体に携帯電話基地局工事、救急消防無線・防災行政無線、ネットワーク、ならびに太陽光発電事業を設計から施工、保守・運用に至る一貫体制で、お客様のニーズに合わせた技術と経験を生かし事業を拡大して参りました。

今後もより一層技術力を高め、常にお客様に信頼して頂ける総合エンジニアリング企業を目指し全社員で取り組んでまいります。

つくばテクノロジー株式会社

■代表取締役 王 波



Data 所在地／つくば市千現 1-14-11
T E L 029-852-7777
F A X 029-886-5528
業 種／製造業
従業員／15名

Appeal point

弊社は 2005 年の創業、2007 年の産業技術総合研究所技術移転ベンチャー認定以来、「非破壊検査により、環境、産業、生活等において安全安心を確保する技術・製品を提供する」を理念に、「レーザ超音波可視化検査装置」、「小型 X 線検査装置」等非破壊検査装置の製造と販売に取り組んで参りました。

東日本大震災やトンネルの崩落事故等により、非破壊検査へのニーズが一段と高まっている現在、弊社製品が安全安心の確保に少しでも貢献できるよう努力し続けております。

株式会社富田製作所

■代表取締役社長 富田 修



Data 所在地／古河市丘里 11
T E L 0280-98-3376
F A X 0280-98-0782
業 種／製造業
従業員／約 165 名

Appeal point

弊社は国内最大級の加圧能力を誇るプレス機を用いた厚板精密板金加工を行う業者として、分野を特定しない数多くのお客さまのニーズに応えるべく設備と生産体制を確立しております。

近年では東京スカイツリー用鋼管や東京駅八重洲口グランルーフの異型柱の製作に携わったほか、2014 年 4 月には新たな鉄の需要探索が可能な設備として世界最大級のプレス機「16,000TON プレス」も導入し、これまで不可能とされていた板金工作にも対応可能と致しました。今後もより一層の技術の研鑽を図り、幅広い国内需要に貢献してまいります。

「なりたい自分になろう」

日立精錬株式会社 代表取締役社長 煙山弘氏

日立精錬の起業の歴史は、盛岡から来た祖父が日立でエレベーターを作っていたことに始まる。祖父も父も戦後は人々の役に立つ仕事をしたいと考えた。戦後の人々にとって、生きる事とは食べる事であり、何もない都会には米や釜や鍋が必要だった。そこで、祖父と父は不要となった飛行機のアルミ部品を買い求め、鍋や釜にリメイクして都会に出て販売した。そのようなスクラップリサイクルで食べ物とお金を得たが、その恩返しに何ができるかと考えた結果、復興の基礎となるべき電線メーカーの手伝いをすることで、人々への恩返しをしようとした。そして、メーカーが開発する新しい合金や次世代電線を共同開発し、それらの製造補助や材料供給の事業を行うこととなった。

経営方針は、「私たち日立精錬株式会社の社員は子供たちの未来と地球環境のため製造からスクラップリサイクルまで持続可能な流れを作り出せるようまごころをこめて仕事をしています」というクレドになって名刺にも印刷してある。要約すれば、「子供たちの未来のために仕事をしている」である。

中小企業の社長にとって重要



なことは、他業界の人との交流や異業種の見学などで学ぶことである。それによってどんな人財を育てればよいかが見えてくる。では、中小企業が求める人材とは何か。会社は、個人の多様なチカラが集まって築かれる。たとえば、テキパキと働くチカラ、作業にじっくり取り組むチカラ、物事を分析するチカラ、人をまとめるチカラなどがある。中小企業では、大企業以上に、色々なチカラをもつ人々を適材適所に配置していく必要がある。

理想的には、難しいテーマにも自分の考えで取り組み、どんな期待をされているかを明確に理解して、つまずきや失敗を努力で乗り切れる強さと仲間を信

じて頼みごとができる柔軟さを持ち、さらに仲間を思いやり手を差し伸べられる優しさとすべての出来事を受け入れて感謝ができる心を持った人なら、即戦力になれる。しかし、これらをすべて持ち合わせる人はいない。そこで、毎日の自分磨きが必要となる。今の自分の思考や言葉、行動などが10年後の自分をつくっていることを肝に銘じて、なりたい自分に近づくためにも、この大切な日々を過ごしていただきたい。

先祖から受け継いだ命の重さと、託された思いの深さを知ってもらいたい。皆さんの願いが叶い、こころ豊かに過ごせますよう祈っています。

経済って何？景気って何？

水戸証券株式会社 執行役員水戸支店長 五十嵐伸氏

当社は大正10年4月に創業し、今年で93年目を迎えました。本社は日本橋に所在しています。現在は東証一部へ上場しており、関東エリアを中心に26店舗を展開しています。上場企業の中で、社名に“水戸”が入っているのは当社だけですので、茨城県民の方々には特に親近感をもってお付き合い頂いています。現在はパート社員を含め747名の社員数、預かり資産は9,615億円で、うち株式を5,551億円所有しています。

我々証券会社は金融業です。金融を一言で表現すれば、世の中でお金の余っているところから、お金を必要としているところに資金の橋渡しをすることと言えます。また経済動向を踏まえ、どのような業種業態が今後活況を呈していくのか見据えた上で、お客様の資産運用をサポートすべく様々なご提案をするのも仕事であり、近年は特に資金余剰者の方々の“資産運用アドバイザー”の側面が強くなっています。

そのため私達の仕事には、人の話を“聴くこと”が求められます。私の経験上、お客様の立場に立ち、お客様の話を聴くことができる人ほど、仕事の成果が



出ているように思います。自分から積極的に商品をPRするのも悪くありませんが、お客様のニーズを把握することが最も大切なことであり、そのためにも人の話を“聴くことができる”ことはとても重要な要素となります。

最近、NISA(少額投資非課税制度)が創設され、より身近に投資が行えるようになりました。皆さんも将来の資産運用に向け、投資家になったつもりで色々とシミュレーションするのも面白いと思います。例えば、皆さんが日常で使用しているモノや

サービスを提供している企業など、よく知っている企業を投資先として捉えてみることで、これまでとは違った視野が広がりますし、就職に向けた会社選びの勉強にもなります。

最後になりますが、アメリカの心理学者 ウィリアム・ジェームズ の言葉を皆さんに贈ります。「心が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば運命が変わる、運命が変われば人生が変わる」。心身ともに充実した学生生活を送って下さい。

環境の変化に対応できる人材に

株式会社筑波銀行 代表取締役副頭取 植木誠氏

当行は平成22年3月に“関東つくば銀行”と“茨城銀行”が合併して設立されました。現在の営業拠点は113箇所、うち茨城が98、ほか栃木・千葉・埼玉・東京に展開しています。全行員数は1,747名です。茨城キリスト教大学の卒業生も勤務されています。

私は1977年に入行しました。当時の日本のGNPは185兆円、現在は520兆円なので、経済規模は3分の1でした。預金や営業、人事・研修、融資、企画、審査部などを経験して参りました。バブルの盛り上がりも、その崩壊も現場で経験してきました。本当に目まぐるしい日々を過ごしていました。1997年当時、メガ銀行は二桁の数がありましたが、現在はグループでみると3行に集約されました。時代が移り変わるとともに、経済も変化していきました。

審査部時代には不良債権処理、企業再生支援に取り組みました。この時期は、本当に“死ぬ程”と言ったら語弊があるかもしれませんが、必死で働きましたし、皆さんにお伝えしたいのは本当に無駄な勉強はない、ということです。不良債権処理や企業再生支援業務は、学生時代



に勉強した簿記や民法など企業会計に関する知識が大変役に立ちました。ある意味“この仕事のために銀行に就職した”と思える程の経験をしました。また、その時に苦勞を分かち合った中小企業の社長さんからは人生観も含め、色々とお教えいただきました。

今振り返れば、仕事を辞めようと思ったことは何度かありません。ただ、いかなる時にも腐らなかつた。どちらかと言えば前を向いて、少しだけだが未来を信じていたように思う。だから、これまで続けられてきたのだと思います。時には開き直りも大

切です。人間ですから人の評価は気になりますが、評価は他人がすれば良いのであって、迎合しても仕方ありません。運や不運もあります。ですがダーウィンが唱えるように、いつも強い者・大きい者が生き残れるわけではありません。環境に適合できるように努力を怠らない者が生き残っていけるのだと私も思うのです。皆さんもこれから様々な出来事を経験されるでしょうが、何事も真摯に精一杯取り組み、時には変化を受け入れながら自らの道を切り開いていただきたい。心より応援しています。

【数に込められた 思いと意味】

4

日本人の情感

k2マネジメント代表取締役 葛田 一雄

日本人の情感は鋭く、しかも細やかである。業務には定量のものと定性のものがある。本稿は、定量と定性に行き来をしつつ、根拠として数字や単位をとりあげている。専門職である前に一人の人間として、更には、一人の知性ある人物として、身につけたいものが情感である。ものに感じて情のおこることを情感という。情感は情が深いということとは異なる。

1. 雨に対する情感

雨の字の前に用語を置くと鮮やかに情感を表すことができる。春などに降る細かくしとしと降るのが糠雨(ぬかあめ)である。霧雨(きりあめ)とは霧のように細かい雨をいう。細雨(さいう)は細かい雨、煙雨(えんう)は眺めなどが煙ようにかすんで降る雨である。涙雨(なみだあめ)は涙が化かしたかのように悲しいときに降る雨、慈雨(じう)は作物に生氣をもたらす恵みの雨である。長雨(ながあめ)は何日も降り続く雨、篠つく雨(しのつくあめ)は大粒で強く激しい降る雨である。俄雨(にわかあめ)は急に降り出し短時間でやむ雨、夕立(ゆうだち)は夏の夕方、急に激しく降る雨、驟雨(しゅうう)はにわか雨である。

雨に漢字を一文字加わえて季節を表現することもできる。①春雨②麦雨③梅雨④涼雨⑤秋雨⑥時雨⑦冷雨⑧氷雨など季節を表現する用語がある。それぞれ、次のように読む。①はるさめ、しゅうう②ばくう③つゆ、ばいりゅう④りょうう⑤あきさめ⑥しぐれ⑦れいりゅう⑧ひさめ。

2. 風に対する情感

季節や時刻によって吹く風が違ふ。これも二文字で表現する。春風(はるかぜ)は春先に吹く気持ちのよい風である。春嵐(はるあらし)は春先に吹く激しい風、青嵐(あおあらし)は青葉の頃に吹くやや強い風、緑風(りよくふう)は初夏の風である。薫風(くんぷう)は初夏に若葉の薫りを漂わせて吹く快い風である。熱風(ねっぷう)は太陽の熱で高温になった風、清風(せいふう)は爽やかな風である。涼風(すずかぜ)は初秋のころの涼しい風、秋風(あきかぜ)は秋に吹く風である。寒風(かんぷう)は冬に吹く寒い風である。

朝風(あさかぜ)は朝方に吹く風、夕風(ゆうかぜ)は夕暮れに吹く風、夜風(よかぜ)は夜に吹く風である。

風が吹く方向を漢字二文字で表現できる。①東風②西風③南

風④北風⑤朔風⑥山風⑦山嵐⑧雪嵐⑨谷風⑩松風⑪松籟⑫下風⑬川風⑭潮風⑮海風⑯陸風などである。どのような読み方をするのか。①ひがしかぜ、とうふう、こち②にしかぜ、せいふう③みなみかぜ、なんぷう④きたかぜ、せいふう⑤さくかぜ(朔は北のこと)⑥やまかぜ⑦やまおろし⑧ゆきおろし⑨たにかぜ⑩まつかぜ⑪しょうらい⑫したかぜ(木の下を吹き抜ける風)⑬かわかぜ⑭しおかぜ⑮かいふう⑯りくふう。

3. 暦月に対する情感

暦月には、四季折々の自然のありようから漢字で表す別の呼び方がある。通例、手紙の最後に日付を書くが、贈答、祝儀、不祝儀などの礼状には、例えば、八月を「雁」と記すと、ささやかなことであるが、知性と情感溢れた表現になる。

一月…余寒(よかん)
二月…残雪(ざんせつ)
三月…梅花(ばいか)
四月…卯花(うばな)
五月…橘(たちばな)
六月…夕立(ゆうだち)
七月…七夕(たなばた)
八月…雁(かり)
九月…月(つき)
十月…時雨(しぐれ)

十一月…霰(あられ)

十二月…雪(ゆき)

4. 季節に対する情感

季節の折々の時節を四季という。季節に対する情感を漢字で表現できる。例えば、春である。春を表す情感には次のような表現がある。まずは、春を使用した二文字である。浅春、早春、季春、春分、春色、春暖などという。春の字を入れて八文字以内で表現することもできる。春寒しだいに緩み、春暖快適の候、春の彼岸の頃、春色とみに濃く、春寒料峭のみぎりなどである。春の字を使わないで時節を表すことができる。日増しに暖かさを増し、小川の水もぬるみ、つぼみも膨らむころ、桃の蕾もふくらみ、日増しに暖かくなり、木々の緑日ごとに色めく季節、若草萌ゆる候、一雨ごとの暖かさ、日毎にのどかになり、菜の花は今が盛りなどである。

春夏秋冬の漢字を用いないで四季を表現することができる。春は、「泡雪、薄氷(うすらい)、霞、風光る、東風(こち)、三寒四温、山笑う、麦踏(むぎふみ)、山桜」などがある。夏は、「青田、青梅雨、朝風、朝焼、打ち水、空蟬、炎暑、草いきれ、短夜」などがある。秋は、「罽雲、馬肥える、刈田、寒露、灯火親しむ、野分、白露、待宵、山粧う」などがある。冬は、「風花、枯野、木枯し、氷柱(つらら)、霜柱、山眠る、霧氷、年越し、霜花」などがある。

5. 花鳥風月

地球の衛星としての月は、自転しつつほぼ一カ月で地球を一周し、自転と公転の周期がほぼ

等しい。そのために、太陽に対する位置の関係によって、新月、上弦、満月、下弦の4つの位相現象が生じる。

日本人は、古くから月を花鳥風月(かちょうふうげつ)と称し、自然を代表するものの一つとして親しんできた。花鳥風月とは、天地自然の美しい景色のこと、風流な遊びのこともいい、自然の美しい景色である。自然の風物を題材とした詩歌や絵画などをたしなむこともいう。

風流韻事(ふうりょういんじ)という言い方もある。自然に親しみ、詩歌を作って遊ぶことであり、詩歌を作ったり、書画を書いたりする風雅な遊ぶ意味がある。風流は優雅な趣のあること、韻事は詩歌や書画などの風流な遊びである。

四文字熟語の多くは情感を表している。四文字熟語には日本人の心情を発露するものが多い。出だしがいうえおのいずれかから始まるものを例示する。合縁奇縁(あいえんきえん)は、人と人とは、不思議な縁だ。唯唯諾諾(いいだくだく)は、言いなりに従うさまをいう。有為転変(ういてんぺん)は、同じ状態にとどまらないことである。栄枯盛衰(えいこせいすい)は、隆盛と盛衰が交互にやってくることをいう。岡目八目(おかめはちもく)は、まわりの人が、物事の真相などがよく分かることをいう。

普段は使われないものでも知っておいて損はない。心滿意足(しんまんいそく)は、存分に満ち足りた気分になることである。活潑潑地(かっぱつはっち)

は、非常に元気のよいさまである。胸襟秀麗(きょうきんしゅうれい)は、考え方や心構えが正しく立派なさまをいう。慧可断臂(えかだんぴ)は、非常に強い決意のほどを示す。居敬窮理(きょけいきゅうり)は、広く物事の道理をきわめて、正確な知識を得ることである。忠魂義胆(ちゅうこんぎたん)は、忠義を重んじ守る心をいう。忠魂は忠義ひとすじの心、義胆は正義を重んじる精神、滝沢馬琴の『八犬士伝序』で用いられている。

6. 職分を弁える

職分を弁えることは、情感を醸成する基本である。職務上の本分を職分という。本分とは、守るべき本来の分限であり、地位や能力などの範囲である。職分に対する心得が職業倫理であり、現代では、コンプライアンスである。

江戸中期の職業の心得をまとめた「富貴の地基」(安永3年)によると、「律義一べん根十分にする」とある。律義とは実直なことであり、根は物事の元をなす部分である。「富貴の地基」には、今流にいうと行動規範が書かれている。

それによると、一と三が基本となっている。三つほど例示する。一つは、「すべて職分は一心不乱と心得べき第一の事」である。一心不乱は、一つの事に心を注いで他の事のために乱れないことである。二つは、「律義と正直と丁寧との三つを心得べき事」である。三つは、「一日怠れば一日の損分ありと心得べき事」である。

前回、NPOや助成財団の新たなトレンドとして、活動資金を受渡だけでなく、いかに豊かな共感による関係形成を築きけるか、成果を大きくできるか、に注目するようになり、ファンドレイズはフレンドレイズ(ファンを増やすこと)と言われていることを紹介しました。企業も、NPOも、共感に基づく社員の自発的な活動と、それによる顧客とのつながりを重視するようになったようです。そして、人が共感でつながる機会、地域で起きている「みんなの課題」にこそあるのです。あえて地域課題と言わないのは、「地域課題は行政か自治会が対応する」という発想になりやすいからです。同情しても他人事としてしまったら、共感とはいえませんが、誰かが何かで困っていて、それは自分や身近な人にも起こりうるかもしれない、間接的に自分の会社も困りごととの要因をつくっているかもしれない、誰かが何とかしようとしているなら自分も手伝いたい、そのように思うことが、共感する、ということなのです。

○いばらき未来基金は、「みんなの課題」の解決に参加する仕組み

2011年2月に、経協、連合、生協、県、茨城新聞社、コモンズが協力して全国初の地域円卓会議が開かれました。その場で、

いばらき未来基金が初のテーマ助成

茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事 横田 能洋

寄付先が選べて安心して寄付できる仕組みをつくろうということになり、2012年10月に基金はコモンズ内に事務局をおいてスタートしました。通常は、大口の寄付があって基金をつくりませんが、未来基金は、資金と賛同を募るところからスタートしました。募金箱を置いたり、寄付つきの商品を買ったり、イベントを開いたり、いろいろ活動して約300万円の寄付が集まりました。これに使ってほしい、という希望も多数いただきました。今も寄付を募集中です。

未来基金は、お金の支援の仕方も実験しています。ひとつは、先に寄付を受けたい事業を募って寄付先カタログをつくり、各事業に集まった寄付に上乗せをして助成する事業指定助成。二つ目は寄付者の意向にそった寄付先を募集して寄付者にも選考に関わっていただく冠助成。これは、花王の社員の皆さんと去年から行い、4団体に助成しています。そして3つ目が、基金が重視する3つのテーマ(孤立防止、次世代育成、地域資源を活かす)に関する活動を募集して助成するテーマ助成です。

○助成金贈呈式で生まれたつながり

6月25日に行われた第一回目の助成金贈呈式には、次の団体が来られました。1つ目は、保護された犬とひきこもりの青年や不登校のこどもが接することで互いに成長するプログラムを運営する団体、2つ目は子どもの頃に虐待にあった母親の子育ての

悩みによりそう団体、3つ目は、孤独な状態にある子連れママをボランティアが訪問するホームスタートという活動を県内で初めて行う団体、4つ目は、講義型ではなく参加型の家庭教育学級を運営している団体、5つ目は毎日夕方、牛久でインターネットテレビを配信し地域のつながりをつくろうとしている団体でした。動物と人、虐待に悩んだ人同士、子育て経験者と悩んでいる母、子どもをもつ親同士、同じまちに住む人々、と対象は違いますが、つながりをつくることから変化を起こそうとしている点は共通しています。また、子どもの虐待、子育ての悩み、相談できる人がいない、ひきこもり、といったことはどの家庭でも起こりうるみんなの課題です。さらに、課題自体も関わりがあるなかで、5つの団体は初めて横につながり、互いに強みやノウハウを出し合って、みなで盛り上げていこうということになりました。基金の運営委員である生協なども、子育てサポーター参加募集や、ストレスを家に持ち込まないようにする親向け講座、など一緒にやれたらという話になりました。お金だけでなく、共に取り組む「仲間」を提供できたのが、この基金らしい支援だと思いました。ぜひ、共感によるつながりを生み出す未来基金の活動にご参加、ご支援ください。(いばらき未来基金のWEBは<http://ibaraki-mirai.org/>)

セミナー名	日 時	テーマ・内容	講 師	会 場
第13期 マネジメントマスターコース	① 7月15日(火) ② 8月4日(月) ③ 9月19日(金) ④ 10月9日(木) 13:30～17:00 全講 32,000円	アイエスエフネットグループに学び、自社に活かす ①素晴らしい経営の実現 ②アイエスエフネットグループの素晴らしさを探る ③アイエスエフネットグループの現地視察 ④アイエスエフネットグループからの学びを自社に活かすワークショップ	①人と経営研究所所長 大久保 寛司氏 ②(株)ヤマオコーポレーション 代表取締役 鬼澤 慎人氏 ③コーディネーター 鬼澤 慎人氏 ④NPO法人 日本ファシリテーション協会前会長 徳田 太郎氏	水戸プラザホテル
職場リーダーグ レードアップセ ミナー	8月7日(木) 9:30～17:00 8,000円	部下のやる気と企業の活力を高めるノウハウ	(株)ビジネスラポール 代表取締役 鈴木文織氏	茨城県 産業会館
営業社員 セミナー	① 8月19日(火) ② 8月26日(火) 9:30～16:30 全講 14,000円 単講 8,000円	①アポイントから成約までのポイント、アフターフォロー ②新規開拓営業の極意	浦上 俊司氏	水戸プラザホテル
第4回ヒューマンエラー防止セミナー	10月15日(水) 9:30～17:00 7,000円	錯覚や行動を把握し、重大事故を防ぐポイント	関西大学社会安全学部 社会安全研究科教授 中村 隆宏氏	三の丸ホテル
経理セミナー (基礎編)	11月7日(金) 9:00～16:30 8,000円	わかりやすい！経理の基礎講座	木村税理会計事務所所長 木村 聡子氏	水戸京成ホテル
経理セミナー (応用編)	11月20日(木) 9:00～16:30 8,000円	簡単にわかる！決算書の見方・読み方	財務リスク研究所(株) 代表取締役 横山 悟一氏	水戸京成ホテル

問合せ 一般社団法人 茨城県経営者協会
〒310-0801 水戸市桜川2丁目2番35号 茨城県産業会館11階
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109
ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール info@ikk.or.jp

心と心のつながりで価値・創造・提案企業を目指します

機械・工具・伝動・管材

OSC 小川産業株式会社

<http://www.osc-web.co.jp/>

【OSショップ】YAHOO店・楽天市場店

■本社 北茨城市磯原町本町3-1-8 ■つくば出張所 つくば市北条4679-1
0293-42-1200 029-850-7500



【安心】の東栄グループ 機械・資材・工具・溶接機械

東栄機工株式会社

<http://www.toueikikou.co.jp/>

本社 〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-18

TEL (0299)96-6023(代) FAX (0299)96-5630

ひたちなか営業所 〒312-0004 茨城県ひたちなか市長砂字塙123-2

TEL (029)219-5577(代) FAX (029)219-5588

東栄グループ

工業用ファスナー・ボルト

産業機械レンタル・修理

プロスパー洗洋株式会社 リペア・カサハラ株式会社

<http://www.neji-pros.jp/>

〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-19 〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-16

TEL (0299)94-3366 FAX (0299)94-3666 TEL (0299)97-1050 FAX (0299)97-2776



CROWN MAJESTA



クラウン マジェスタ

茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851

TEL 0120-090110

<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ



心に寄り添う

お・も・て・な・し

それは

カスミのDNA



きょうは
もっと
いいね!



私たちの「いいね!」を
未来へつなごう

株式会社 カスミ

〒305-8510 茨城県つくば市西大橋599-1 TEL.029-850-1850

<http://www.kasumi.co.jp/>

KASUMI

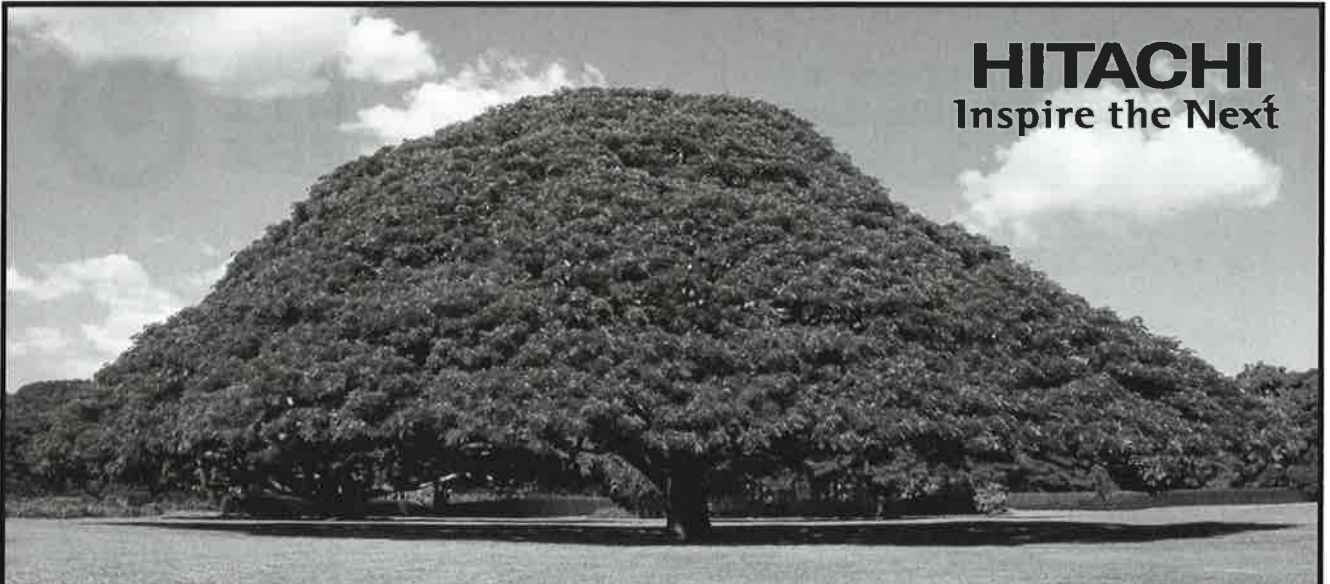


カスミ公式フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kasumi.fanpage>



HITACHI
Inspire the Next



次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

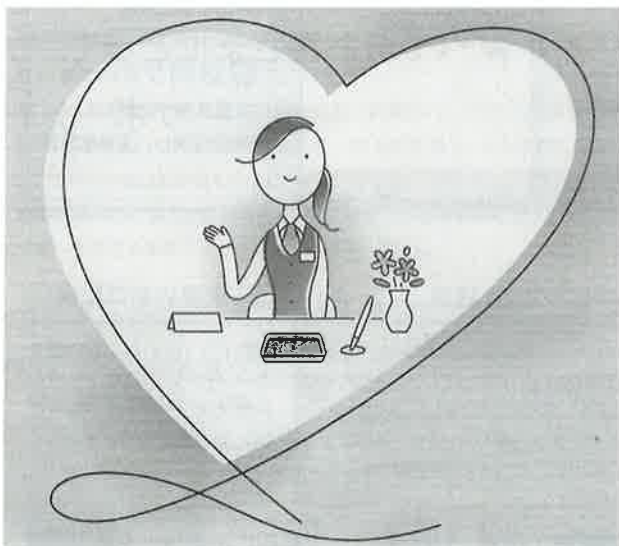
今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

株式会社 日立製作所 日立金属株式会社 日立化成株式会社 日立建機株式会社 日立工機株式会社
株式会社日立ハイテクノロジーズ 日立アプライアンス株式会社 日立オートモティブシステムズ株式会社

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

ベストパートナーバンク



6 オフィスマるごとサポート



オフィスの「課題」「お悩み」を「オフィスマるごとサポート」がまるごと解決!

オフィスの課題、 まとめて解決。



「オフィスマるごとサポート」はトラブル対応にとどまらず、
日常的に使える、お客さまのIT環境を見守るトータルサポートサービスです。

●「オフィスマるごとサポート」でできること

- ヘルプデスク**
(IT業務の専用窓口) Excel®などのビジネスソフトの操作方法や、ルーターの設定方法など、ささいなお困り事でも気軽に問い合わせ! 社員の皆さまに喜んでもらえる!
- IT管理支援** 社内PCを一括管理し、セキュリティ事故の発生を未然に防止!
- トラブル対応** PC本体だけでなく、複合機や周辺機器など、ITのトラブルはたらい回しなく即座に対応!
- 定期診断レポート** “定期診断レポート”で定期的にお客さまのIT環境を診断することで、本来業務に集中できる!



4つのサポート方法

- 1 IT管理サポート** オフィスのIT環境を自動で認識することで、迅速・的確にお困り事に対応
- 2 電話サポート** 各種機器の相談窓口を一本化、たらい回しを防止
- 3 リモートサポート** 離れた場所から遠隔でスピーディーにお困り事を解決
- 4 訪問サポート** 技術スタッフが直接訪問し、状況を診断

● お客さまの声

茨城自動車整備工場様

1965年創業。自動車の整備・販売・板金および損害保険等の車全般に関して、国産車・外車、新車・中古車を問わず手掛けている。



「その件は、〇〇へお問い合わせください」というたらい回しが解消。さらに「定期診断レポート」で安心。

経理事務担当
茨城公恵様

以前は、トラブルやわからないことがあると色々な人に聞いて、1日の多くの時間を費やし、他の仕事の後回しになっていましたが、今はサポートセンタに連絡し、その場で解決できるようになりました。また、「定期診断レポート」のセキュリティ面の警告に驚き、サポートセンタへ連絡して、リモートサポートを活用しながらアドバイスをしてもらえました。本当にITの良き相談相手になっています。

お申し込み・お問い合わせは

0120-446556

受付時間 午前9時～午後5時
(土・日・休日・年末年始を除く)

まるごと解決

検索

※本サービスは、お客さまのトラブル・問い合わせの解決を保証するものではありません。
※Excelは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標です。

K14-0523[1405-1505]

新卒者の求人掲載が、 シンプルになりました。



就職MAPは **伝える品質** を追求します。

- ① 求人情報をキレイ、自由、簡単に掲載します。
- ② 煩雑な操作は必要ありません。
- ③ 無料です。(経営者協会会員に限ります)

2014年
7月中旬
リニューアル
オープン

【ご掲載までの流れ】

【お申し込み】→【お打合せ】→【求人情報の加工】→【CHECK】
※下記「掲載申込」に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお送り下さい。

↓
【サイト公開】

2015年4月入社向け
求人掲載募集中

運営 一般社団法人茨城県経営者協会

〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-2-35 産業会館11階
 TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109 E-mail info@ikk.or.jp
 就職MAP茨城版 <http://www.shumap.jp/>

掲 載 申 込		FAX 029-224-1109 E-mail info@ikk.or.jp
会社名		
申込御担当者 役職名・氏名		
連絡先 (TEL)		

経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

開催日 毎週木曜日 ①10:00~12:00
(祝日は除く) ②14:00~16:00

会場 経営者協会・相談室
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

申込方法 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

Flow chart

賃金関係 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか?

労働組合 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか?

助成金制度 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか? 活用できる助成金制度について教えて欲しい。

人事労務 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

精神疾病 メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか?

その他 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関する課題全般の悩みについて。

人事労務相談室
が総合窓口
(ワンストップ)

課題解決に
最適な専門家を
ご紹介

協会・顧問弁護士

清水謙弁護士

大和田一雄弁護士

社会保険労務士

税理士

経営

コンサルタント

その他

各専門家

お問い合わせ：一般社団法人茨城県経営者協会 事務局 (後藤)
TEL: 029-221-5301 FAX: 029-224-1109
E-mail gotou@ikk.or.jp